

國際經濟週報

新新聞聯合社發行

433 (No. 650) 行發日四十月七年七和昭 號八廿第 卷三十第 (可認物便郵種三第日九月十年九正大) 行發日曜木回一週每

ローザンヌ 賠償會議大團圓

ドイツは十五億圓獻金

六月十六日からスイスのローザンヌに開かれた賠償會議は波瀾重疊多の難關に遭遇したが、七月八日遂に最後の協定に到達し、翌九日參加各國が條約に調印を了した。會議二十四日、再三決裂に瀕しながらも遂にこれを成功せしめ得たのは議長イギリス首相ラムゼイ・マクドナルド氏の涙ぐましき努力の賜物に負ふところ多大である。

其後の経過

七月一日ドイツ側は賠償會議の最終的具體案に對しドイツは三日反對を表明し、ドイツが支拂ふべきユーロツバ復興資金四十二億マルク中、ドーゾヤンク兩公債の元利拂金を除く四十億マルクの半減を求め、なほユーロツバ平和條約中の大戦責任條項の削除を要望した。これをみたフランスは大に立腹し、七月五日賠償問題に關するフランス側の要求を全部承認するが、さもなければヤンク案を忠實に實行せよと開き直つたものである。

佛獨妥協

リス首相マクドナルド氏は最後の努力を傾注して佛獨兩國の妥協を圖つた。その甲斐あつて七日は午前午後二回に亘りドイツ首相バレンとフランス首相エリオットの直接交渉となり、遂に兩者の互譲が出来た。即ちドイツは大戦責任解除要求を撤回し、他方フランスはドイツの獻金を三十億マルク以下に決定することに同意したのである。

條約内容

條約の内容は左の如く
第一部 前文
第二部 聲明書

(本誌所掲電報) 昭和七年七月三日—九日發信

世界經濟展望

戰債問題

賠償問題はローザンヌ會議の收穫により一先づ片付いた形であるが、これと不可分の關係にある戰債問題はどうなるか。

米棉植付反別

アメリカ新棉植付反別は昨年より如何程減少するか、民間豫想は大體昨年度の八分一厘減といふ見當であつた。然るにアメリカ農務省は七月八日三千七百二十九萬エーカーと發表した。これは前年度の九分五厘方の減少に當り強氣的とみられた。しかし當日のニューヨーク棉花相場はほんの僅か高かつただけで影響微弱であつた。

人絹社業績

本誌本年上半期分本用總索引目錄を本誌に添附、半ヶ年以上の前約購讀者に無代進呈致しました。昭和六年七月十四日

新聞聯合社

ためにローザンヌに參集した。これ等諸國は賠償問題を完全に解決すべきローザンヌにおける成果だけによつて如上の目的並に諸國民の欲求する平和を確保し得ると自負するものではない。

眞の平和

のたためにこの新力するに於ては極めて容易に獲得し得るものである。然しながらこの努力は經濟、政治兩方面に拂はれ、武力或は暴力に訴ふべき凡ゆる可能性を排除する場合においてのみ完璧といひ得るものである。

決議第一

三十億マルクの公債はドイツと協定により左の條件により發行する。
一、三ヶ年後市場の状況が公債發行に適當となりたる時期にこれ

を發行す。
二、發行價格九十マルク。
三、利子五分並に減債基金に振向くべき利子一分。
四、本條約批准後十五ヶ年間に本公債發行不可能の場合には本公債はこれを廢棄す。
五、本公債はバーゼルにおける國際決済銀行これを保持し、公債の收入を以てユーロツバ復興の基金に充當す。

決議第二

本協定によるドイツの發行すべき三十億マルクの公債に關し、過渡的便法を講じ、且つ本條約批准完了まで本條約の聲明書並に本條約條項を延長實施す。

決議第三

(ドイツ以外の諸國の支拂ふべき賠償金關係事項)
ベルギー、イギリス、ドイツ、フランス並にイタリアの五ヶ國は東部並に南東部ユーロツバ諸國復興の第一歩として、オーストリアを援助する計畫達成に協力することを約す。ブルガリア並にハンガリー兩國の賠償金支拂實行は來る十二月十五日まで、これを保留す。

決議第四

現在の諸難關打開に必要な手段並に穀物の價格問題及び類似地の天候が良くなつたことや株安相に殺されたためである。
支那元本位
單位を異にする難多の流通貨幣があり、同じ貨幣でも發行所が異なり純含有量が相違するといふ複雑なる支那の幣制を改革すべく國民政府は民間側と協議の結果、最近(元)の本位制實施に決定した。これには兩の廢止を行ふことになつてゐるが、そのみでは實現不可能で、現在流通してゐる銀幣を全部改鑄して品質を統一するものがあつた。

決議第五

世界經濟財政會議は國際聯盟主催の下にこれを招集す。會議地は追つてこれを決定す。
但し即時專門委員會を任命し、右國際會議に對して處理すべき財政經濟諸問題を研究せしむ。且つ該專門委員會にはアメリカの參加を要請するものとす。

獻金額

右によるとドイツが賠償金の變形として一括支拂ふべきユーロツバ復興資金は三十億マルクと決しこれを公債で提供するのであるが賣出價格九十、年利五分の公債を發行すると手取金二十七億マルクとなる。償還は毎年一分の減債基金を積立てて行くのであるから全額償還にはこの公債發行後向ふ三十七ヶ年を要する勘定である。これをヤンク案における賠償總額千七百億マルク、五十八ヶ年々賦、この現在價格見積り三百五十億マルクに比較すると、僅に四分の一、驚くの外はない。今回の協定のみでは未だ完全な效力を發揮せず、あとに戰債問題の解決を殘してゐるといへ、ローザンヌ會議の成果は蓋し特筆に値する。

本誌索引

獨逸	商業債務振置會議 六月未失業率數 人絹界近況	伊國	人絹界近況	露國	石炭石油生產高 五ヶ年計畫實情 織物增產計畫 穀物增產豫想	印度	帝國銀行利下げ 四月中の人絹輸入高	マレー	六月中ゴム輸出入	ジャワ	第四回產糖豫想	支那	國民經濟會議計畫 輸入貨物發送證 明手數料徵收 元本位制實施か メーゾ氏の聲明	滿洲	撫順炭發製限反對 農作物作柄 稅制中央集權成る	日本	六月中の東京卸賣物價 長春丸の沈没 人絹會社業績良好 七月上旬輸出入額 六月下旬綿糸輸出高 同 綿糸輸入高 同 綿糸輸入高 六月末東京綿糸在荷高 同 名古屋綿糸同 同 名古屋綿糸同 六月下旬棉花輸入高 六月中の綿糸生產高 同對外貿易概算	英國	六月中の紡績棉花 引取高 ホルチック船隻契約 船用新燃料成績良好	愛蘭	對外貿易の獨立	佛國	豫算案難礁に乗上ぐ 巨船T6號 スエズ運河會社 副社長新任	世界	賠償會議の経過 マクドナルド氏 の會議閉會演說 五ヶ國卸賣物價指數 世界米棉持越高
----	------------------------------	----	-------	----	--	----	----------------------	-----	----------	-----	---------	----	---	----	-------------------------------	----	--	----	---	----	---------	----	--	----	---

米 今秋の大統領選挙戦

「対ルーズヴェルト(民) フーヴァー(共)」

混亂を豫想されてきた民主黨全大會も案外早く、僅か六日間で七月二日終つた。大統領候補者指名が早く片づいたためである。最初にはニューヨーク州知事フランクリン・ルーズヴェルト、前大統領候補民主黨候補スミス、現下院議長ガーナー三氏の激戦が豫想され、百回以上も投票のやり直しをやつた一九二四年の轍を踏むのではないかと思はれたが、意外にも第四回目の投票でルーズヴェルト氏が軍配が擧つた。ガーナー氏が譲つたためである。

ルーズヴェルト

民主黨では候補者指名には總投票の三分の一、七百七十票を必要とするが、ルーズヴェルト氏はガーナー派の支持で第四回に九百四十五票を得てゴールに入つた。施した功徳はわが身に幸して次いで行はれた副大統領指名選挙に於ては無投票でガーナー氏が選ばれた。

巨船T6號

フランスで目下建造中

フランスで素晴らしい巨船を建造中である。同國のセント・ナザールのバヌ造船所で最近骨組を終つたばかりであるが排水量は驚くべきなれ七萬トン、總建造費は七億五千萬フランに上る豫定だといふから平價で日本の金に換算すると六千萬圓になる。

後の最初の火曜日(今年十一月八日)と定めてある。而して右の選挙委員は其の翌年一月の第二日曜日(明年一月九日)各自州の首府に於て正式に大統領選挙投票を行ふのである。この投票は二月の第二水曜日(明年は二月八日)に兩院議員列席の上開票され、その結果が公表される。

兩黨の政綱

- 一、禁酒法再審議。
- 一、現政府の極東政策を支持す。
- 一、ケロッグ不戦條約が脅威されるやうな場合、その實情調査の爲め、國際會議を招集する權限を政府に與へる。
- 一、アメリカの大統領の任期は四年間であるから、大統領選挙委員の選挙は毎四年目(閏年)に行はれ、その日取は十一月の第一日曜日のと見ればよい。
- 一、アメリカの大統領の任期は四年間であるから、大統領選挙委員の選挙は毎四年目(閏年)に行はれ、その日取は十一月の第一日曜日のと見ればよい。

スラフ

豫算案難礁に乘上ぐ

七月三日(日) 豫算相モリス・バルマード氏が七月一日下院に提出した急進社が党内閣の一九三二年度豫算案は五十億フランの巨額に達する赤字補填策として軍事費並に行政人件費に於て約二十五億フランを削減せんとするものである。同法案の審議に着手した下院財政委員会は本日に至り、右削減額中十七億フランの節約項目を拒否するに決した。これがため、エリオ内閣の緊急豫算案は果然大難關に達するに至つた。然しながら豫算相モリス・バルマード氏は依然原案を固執し「八億フランの削減は餘り大き過ぎる。政府は斷つて譲歩出来ぬ」と言明し、強硬なる態度を示してゐる。

海 外

- 七月三日(日)
 - ▽フランス豫算案は下院財政委員会で修正を受ける。
 - ▽滿洲國の郵政統一成る。
 - ▽南京政府は羅、郭、宋、汪四氏協議の結果東北關稅問題に關する具體的辦法を決定、同時に日本政府提出の調停案を拒否するに決した。
 - 七月四日(月)
 - ▽ルーマニアでは財政難の爲め各地に暴動が頻發してゐたが、カール陛下自らこれを鎮壓された。
 - ▽新駐英支那公使に郭泰祺氏赴任。
 - ▽滿洲國は稅制の中央集權確立の爲め各省財政廳を廢止し、新に財務監督處を設置に決定。
 - ▽滿洲國政府は近く東京に滿洲國代表公使館を開張するに決定。
 - ▽英下院に於て外務次官イーデン氏は「上海圓卓會議問題は目下考慮中」なる旨言明した。
 - 七月五日(火)
 - ▽軍縮會議幹事部會に於てサイモン氏は「フーヴァー案を有力ならしむべき性質の決議案」に既に滿場一致可決してゐる九項目乃至十項目を具體化するべき決議案の二案を提出した。尙ほ松平大使はフーヴァー案の不完全を指摘した。
 - ▽滿洲國に接収された濱江海關の總稅務司ブレデション以下海關員五十名滿洲國に反抗。
 - ▽安東海關の紛糾解決、滿洲國の手により執行開始される。
 - ▽滿洲國政府新條約を公布。
 - ▽總稅務司モーツ氏は滿洲國海關接収の爲め賠償金支拂不能に陥つた旨聲明を發表した。
 - 七月六日(水)
 - ▽特別聯盟總會はトルコの聯盟加入申請案を可決。
 - ▽チリ前大統領イバネス氏サンチャゴに歸還。
 - 七月七日(木)
 - ▽ポールドウイン氏は英下院に於てフーヴァー軍縮案を支持する旨を述べ英政府の對案として陸海空軍に關し新提案を聲明した。
 - ▽軍縮會議一般委員會に於て小國代表は擧つてフーヴァー案を支持する旨言明した。
 - ▽ポールドウイン氏の對案に關し米國務長官スチムソン氏は聲明を發表した。
 - ▽アメリカ農務労働黨議員シッパステッド氏は上院に職權廢棄決議案を提出。
 - ▽失業救濟案を下院を通過す。
 - ▽アメリカ議會は恩給軍の歸國旅費十萬ドル施與の件を可決。
 - ▽少數派議員は米大統領候補にフーヴァー氏を指名す。因に多數派議員はボラー氏を指定するものと見らる。
 - ▽イギリス下院は七月十三日より十月廿七日まで休暇。
 - ▽フランス上院は婦人參政權を否決した。
 - ▽聯盟調查團秘書ドルマン氏は村井總領事外民間代表と會見排日運動に關し聽取する所あつた。
 - 七月八日(金)
 - ▽ローザンヌ賠償會議は最後の協定に到達した。
 - ▽賠償協定に對し米國務省は満足してゐるが、賠償協定は各國と個別的に行ふ旨聲明した。
 - ▽軍縮一般委員會に於て支那を含む十ヶ國代表はフーヴァー案支持の演説を行つた。
 - ▽印度は印度事務相が英下院に提出せる全印度聯邦政府設立に關する政府案に反對。
 - ▽アイルランド自由國特別稅法案英下院第三讀會を通過。
 - ▽宋子文氏は辭意を顯し南京に歸任。
 - 七月九日(土)
 - ▽賠償條約調印式行はる。
 - ▽國民政府は海關收入補填の爲め輸入貨物に對する在輸出地領事の證明手數料取立を決定す。
 - ▽アメリカ國務長官スチムソン氏は戰債問題に關しフーヴァー・モラ提案聲明中「支拂能力以上の額を強要せぬ」の態度は絕對に變更せざる旨宣言を發表した。

七月三日(日)	七月九日(土)
七月四日(月)	七月十日(日)
七月五日(火)	七月十一日(月)
七月六日(水)	七月十二日(火)
七月七日(木)	七月十三日(水)
七月八日(金)	七月十四日(木)
七月九日(土)	七月十五日(金)

七月三日(日)	七月九日(土)
七月四日(月)	七月十日(日)
七月五日(火)	七月十一日(月)
七月六日(水)	七月十二日(火)
七月七日(木)	七月十三日(水)
七月八日(金)	七月十四日(木)
七月九日(土)	七月十五日(金)

國際政治日誌

内 地

- 七月九日(土)
 - ▽賠償條約調印式行はる。
 - ▽國民政府は海關收入補填の爲め輸入貨物に對する在輸出地領事の證明手數料取立を決定す。
 - ▽アメリカ國務長官スチムソン氏は戰債問題に關しフーヴァー・モラ提案聲明中「支拂能力以上の額を強要せぬ」の態度は絕對に變更せざる旨宣言を發表した。
 - 七月十日(日)
 - ▽賠償條約調印式行はる。
 - ▽國民政府は海關收入補填の爲め輸入貨物に對する在輸出地領事の證明手數料取立を決定す。
 - ▽アメリカ國務長官スチムソン氏は戰債問題に關しフーヴァー・モラ提案聲明中「支拂能力以上の額を強要せぬ」の態度は絕對に變更せざる旨宣言を發表した。

内 地

- 七月九日(土)
 - ▽賠償條約調印式行はる。
 - ▽國民政府は海關收入補填の爲め輸入貨物に對する在輸出地領事の證明手數料取立を決定す。
 - ▽アメリカ國務長官スチムソン氏は戰債問題に關しフーヴァー・モラ提案聲明中「支拂能力以上の額を強要せぬ」の態度は絕對に變更せざる旨宣言を發表した。
 - 七月十日(日)
 - ▽賠償條約調印式行はる。
 - ▽國民政府は海關收入補填の爲め輸入貨物に對する在輸出地領事の證明手數料取立を決定す。
 - ▽アメリカ國務長官スチムソン氏は戰債問題に關しフーヴァー・モラ提案聲明中「支拂能力以上の額を強要せぬ」の態度は絕對に變更せざる旨宣言を發表した。

内 地

- 七月九日(土)
 - ▽賠償條約調印式行はる。
 - ▽國民政府は海關收入補填の爲め輸入貨物に對する在輸出地領事の證明手數料取立を決定す。
 - ▽アメリカ國務長官スチムソン氏は戰債問題に關しフーヴァー・モラ提案聲明中「支拂能力以上の額を強要せぬ」の態度は絕對に變更せざる旨宣言を發表した。
 - 七月十日(日)
 - ▽賠償條約調印式行はる。
 - ▽國民政府は海關收入補填の爲め輸入貨物に對する在輸出地領事の證明手數料取立を決定す。
 - ▽アメリカ國務長官スチムソン氏は戰債問題に關しフーヴァー・モラ提案聲明中「支拂能力以上の額を強要せぬ」の態度は絕對に變更せざる旨宣言を發表した。

ソヴィエト 五ヶ年計畫の實情

第二次計畫案の内容

ソヴィエト五ヶ年計畫は、大衆の期待を越えて現在の不滿を忍びせよとする巧妙な計略だといふ見方がある。將來に希望を繋ぐに類な五ヶ年を選び、これを四ヶ年でやり遂げて大衆を嬉しがらせる。而して四ヶ年に達せぬ以前に第二次五ヶ年計畫を發表する。更に第三次、第四次と引つづけて行かうとするのである。こんな觀察の當否はさて置き、その計畫の實情をみるべく以下六月十一日發行したソヴィエトのソヴィエト報を紹介する。

成功又成功

ソヴィエトは一九二八年十月一日から一九三三年九月三十日に亘る五ヶ年計畫を十ヶ月繰上げて本年末までに完成すべく大奮に努力してゐる。

五ヶ年計畫は途中で修正を施された。最初の發表とは餘程異つた内容を有つに至つた。一九二八年の第一年度の成績は豫定以上の効果を収めることが出来た。これが第二年度は早くも當初の割當計畫を擴張することとなつた。勿論計畫の全般に亘つてあら

勞農聯邦

石炭及び

石油生産高

モスクワ七月三日(日)
勞農聯邦當局の公表によれば本年上半期における聯邦内の石油、石炭生産高は左のごとくである。(單位百萬トン)

石油	一一・二五	比前年同期 七%増
精油	一〇・五〇	一五%増
石炭	三三・〇〇	二三%増

ハ、運輸サービスが不充分であつたこと。
ホ、從業者が協同的精神を缺いたこと。
ヘ、賃銀制度が不足したつたこと。
ヘ、賃銀制度が不足したつたこと等の弊は基礎案に比し、一九三一年の数字は基礎案に比し、一五%増に悪かつたといふ程ではなく、見積りの七十三パーセントまで實現してゐる。

四ヶ年で成就

本年度における政府の生産増加見積りは前年度に對する三十六パーセント増加である。若しこれが實現の曉には第一次五ヶ年計畫による最終年度分を本年内に完成することになる。即ち計畫着手以來四年三月で五ヶ年計畫を成就出来るわけである。

ソヴィエト政府はこれに満足することなく、引續き第二次五ヶ年計畫を目論見、既にそのプランを打立てゝゐる。

第一次五ヶ年計畫はソヴィエトの産業及び商業の重要部門における完全なる再組織と復興並に農村の建直しを實現せんとするにあつた。戦前のロシアの産業状態を觀察すればかかる計畫には必然的に新事業を興さねばならぬことが明瞭である。これに關しては莫大なる資本の投下を要するのである。又現存せる事業の再組織を行ふには多大の努力を要する。生産の合理化を行はねばならぬ。巨額の資金を必要とする。生産増加のために出来るだけ多量の原料を購入せねばならぬ。ソヴィエトは第一次五ヶ年計畫においてよくこれらを實行したのである。

第二次五ヶ年計畫は第一の次計畫の充實完成を行はんとするものである。その主要目的は消費及び生産の増進を圖ること、一般に社會状態を改善すること、並に國民の文化程度や技術的水準を向上せしめんとするにある。

現在の見積りによれば第二次五ヶ年計畫案は一九三七年における農業生産額を一九三一年のそれと比し約四十パーセントだけ増加すべく計畫されてゐる。

又石炭生産高は一九三七年において二億五千萬トンに増加せんとし、他方鐵道の新設は二萬五千キロメートル乃至三萬キロメートルを確實に敷設すべく企圖されてゐる。

織物増産計畫

チェレンマに陥る

重工業と同じく、ソヴィエトが織維工業の發展に對して特に力を入れている。これは織物の自給自足策から出たのは勿論であるが、現實の問題として多數の人民が織物の窮乏を感へてゐるためである。

この統計はソヴィエト政府が發表したものであるが、外國の専門家の調査と大差はない。一九三〇年度の織物生産額は僅かに五ヶ年計畫の五割にしか達しなかつたのを考へると、昨年度は成功といふべきである。これらの製品は直ちに國內で消費されてしまつた。

本年度の計畫
本年は更に各織維部門に亘つて昨年より平均二割の増産を計畫してゐる。内譯は次の如くであるが、織物のみは含まれてゐない。

綿製品	二四%	昨年より
絹製品	四一%	の増産率
毛織品	一八%	
麻製品	一七%	
絹製品	二〇%	
均	二〇%	

品質は悪い
今日までの製品を見ると、その品質は餘り芳しくない。ソヴィエトでは男も女もスタイルな物が要る譯ではない。只實用な改良が必要とされてゐる。第二次五ヶ年計畫には標準物の改良が叫ばれてゐる。

以前は國內の織物不足を補ふために多量の完成品を輸入してゐたが、併し現今では完成品輸入の必要が少なくなった。昨今の今頃、一九三一年度の織物計畫が成功すると見えて、透しがついた。外國貿易代表者に左の割合で下期の輸入を上半期より制限するやうに命令した。

國際經濟日誌

七月三日 日曜
七月九日 土曜

海外
【七月四日(月)】 ロンドンにおける日本政府公債俄然猛騰、五ポンド乃至十ポンド半高を演ず。ソヴィエト最高國民經濟會議議長オシンスキー氏は本年度の穀物は増收の豫想と發表。
【七月五日(火)】 イギリス下院において滿洲國の大連海關接收問題について問答を繰返す。
【七月六日(水)】 米棉強調、現物は二月半振りに六セント臺を回復し六セント二五となる。
【七月七日(木)】 ニューヨークの日本補償生糸をアメリカに於ける絹物宣傳に使用すべしとの提案があつたとニューヨークに傳はつたが同市場には何等の影響がなかつた。
【七月八日(金)】 アメリカ自由國はイギリス本國の繻紗から脱れて貿易の獨立を圖る。
【七月九日(土)】 インド綿布關稅大運汽船所屬長春丸は青島沖で坐礁し遂に沈没した。
【七月十日(日)】 ニューヨークのコール軟調、二セントに下つた。
【七月十一日(月)】 アメリカ上院は一議員より職債放棄決議案が提出された。
【七月十二日(火)】 アメリカ失業救済案が通過す。右兩案とも實現性薄し。
【七月十三日(水)】 アメリカ恩給證書現金支拂案の議會通過運動のため全國からワシントンに集まつた發兵達は國庫から旅費を貰へる事になつた。
【七月十四日(木)】 インド帝銀利下げ發表。
【七月十五日(金)】 イギリスの對支貿易不振を救ふ途はないかといふ議會の質問に對し外務次官は現に努力してゐると答辯。
【七月十六日(土)】 アメリカ國務省より職債問題は債務國が個別的に申込んで来るならば考慮しようとの聲明を發表。
【七月十七日(日)】 アメリカ農務省は新棉植付反別發表、市場には影響薄。
【七月十八日(月)】 フレーシヨンのためアメリカが蒙つた損害は一千五百萬乃至二千億ドルに上るとして通貨膨脹政策の必要を力説す。イギリス下院はワイルランド自由國に對する輸入税引上げ案を通過した。
【七月十九日(火)】 職債問題に關しアメリカ國務省は宣言を發表し各國の支拂能力以上の額を強請せぬ旨を闡明す。
【七月二十日(水)】 アメリカ失業救済案上院通過、大統領は裁可を拒否するらしい。
【七月二十一日(木)】 南京政府は海關收入補填のため輸入貨物の發送證明手数料を徵收するに決す。
【七月二十二日(金)】 日銀參與會は第一回會合を催す。
【七月二十三日(土)】 鐵鋼共販會社創立準備委員會は組織細目に就き協議の結果大體内定した。
【七月二十四日(日)】 日華生命ハワイ進出を試むべく準備を整へてゐる。
【七月二十五日(月)】 インド綿布關稅引上げ阻止方を政府當局に陳情のため神坂紡聯理事及び入江綿糸布同業會書記長は外務省を訪問しその點を懇請した。
【七月二十六日(火)】 シンジケート銀行團は滿鐵債引受けの形式で二千萬圓融通に決定。
【七月二十七日(水)】 興業債券一千萬圓賣出年利六分、申込多し。
【七月二十八日(木)】 東京金融業者水曜會の臨時總會においてコール協定率を従來の一錢二厘から一厘方引下げること意見一致。
【七月二十九日(金)】 撫順炭輸入制限問題に就き調停委員會を首相官邸に開會。
【七月三十日(土)】 小樽取引所の清算取引及び銘柄別取引上場物件追加の件認可される。
【七月三十一日(日)】 興業債券は募集額の九倍に達する申込みあり、期間を繰上げて締切つた。

賠償會議經過
七月三日、ドイツは一括拂金を二十二億マルクに減額を要求し、同時に平和條約中の大責任條項廢棄を要求する。イタリー代表聲明書發表。
七月五日、イタリー代表聲明書發表。
七月六日、ドイツは一括拂金を二十二億マルクに減額を要求し、同時に平和條約中の大責任條項廢棄を要求する。イタリー代表聲明書發表。
七月七日、獨逸間に漸く最後の協定成る。
七月八日、獨逸は大戦責任解除要求を撤回。
七月九日、フランスはドイツの一括拂金を三十億マルク以下とすることに同意。
七月十日、最終總會を開き、最後の協定に到達。條約全文は二千五百語。
七月十一日、條約調印式舉行。參加十一ヶ國代表の歴史的署名を了して閉會。

七月五日(火) アメリカ農務局手持ち小麦中より四千五百萬ブツセル(約九百萬石)、同手持ち棉花五十萬俵を失業救済のため赤十字社へ提供する法案に大統領署名す。

七月六日(水) 米棉強調、現物は二月半振りに六セント臺を回復し六セント二五となる。

七月七日(木) ニューヨークの日本補償生糸をアメリカに於ける絹物宣傳に使用すべしとの提案があつたとニューヨークに傳はつたが同市場には何等の影響がなかつた。

七月八日(金) アメリカ自由國はイギリス本國の繻紗から脱れて貿易の獨立を圖る。

七月九日(土) インド綿布關稅大運汽船所屬長春丸は青島沖で坐礁し遂に沈没した。

七月十日(日) ニューヨークのコール軟調、二セントに下つた。

七月十一日(月) アメリカ上院は一議員より職債放棄決議案が提出された。

七月十二日(火) アメリカ失業救済案が通過す。右兩案とも實現性薄し。

七月十三日(水) アメリカ恩給證書現金支拂案の議會通過運動のため全國からワシントンに集まつた發兵達は國庫から旅費を貰へる事になつた。

七月十四日(木) インド帝銀利下げ發表。

七月十五日(金) イギリスの對支貿易不振を救ふ途はないかといふ議會の質問に對し外務次官は現に努力してゐると答辯。

七月十六日(土) アメリカ國務省より職債問題は債務國が個別的に申込んで来るならば考慮しようとの聲明を發表。

七月十七日(日) アメリカ農務省は新棉植付反別發表、市場には影響薄。

七月十八日(月) フレーシヨンのためアメリカが蒙つた損害は一千五百萬乃至二千億ドルに上るとして通貨膨脹政策の必要を力説す。イギリス下院はワイルランド自由國に對する輸入税引上げ案を通過した。

七月十九日(火) 職債問題に關しアメリカ國務省は宣言を發表し各國の支拂能力以上の額を強請せぬ旨を闡明す。

七月二十日(水) アメリカ失業救済案上院通過、大統領は裁可を拒否するらしい。

七月二十一日(木) 南京政府は海關收入補填のため輸入貨物の發送證明手数料を徵收するに決す。

七月二十二日(金) 日銀參與會は第一回會合を催す。

七月二十三日(土) 鐵鋼共販會社創立準備委員會は組織細目に就き協議の結果大體内定した。

七月二十四日(日) 日華生命ハワイ進出を試むべく準備を整へてゐる。

七月二十五日(月) インド綿布關稅引上げ阻止方を政府當局に陳情のため神坂紡聯理事及び入江綿糸布同業會書記長は外務省を訪問しその點を懇請した。

七月二十六日(火) シンジケート銀行團は滿鐵債引受けの形式で二千萬圓融通に決定。

七月二十七日(水) 興業債券一千萬圓賣出年利六分、申込多し。

七月二十八日(木) 東京金融業者水曜會の臨時總會においてコール協定率を従來の一錢二厘から一厘方引下げること意見一致。

七月二十九日(金) 撫順炭輸入制限問題に就き調停委員會を首相官邸に開會。

七月三十日(土) 小樽取引所の清算取引及び銘柄別取引上場物件追加の件認可される。

七月三十一日(日) 興業債券は募集額の九倍に達する申込みあり、期間を繰上げて締切つた。

條約正文に調印

ローザンヌ會議全く終了

ローザンヌ七月九日(土) 世界現下の破局的状況を阻止し...

正式に調印 本日の賠償會議...

ドルナドクマ 説演の長議

ローザンヌ 七月九日(土) 本日の賠償會議...

有終の美 吾々の業績は歴史に新しき一頁を劃するも...

輝く金ペン 羊皮紙の調印...

大なる勇氣 吾人は過去に於て自己を解放するために闘ひ來...

正式に調印 本日の賠償會議...

正式に調印 本日の賠償會議...

有終の美 吾々の業績は歴史に新しき一頁を劃するも...

各國代表の 署名を終るや記念のため乾杯した。

カリメア 戦債放棄 決議案提出 条件がとも大變

ドイツの 商業債務据置 と利子引下問題

失業救済案 兩院を通過

卸賣物價指數 (新聞聯合社調査) Table with columns for year, month, and index values for various countries.

恩給軍に 歸國旅費を施與

國際會議開催 日・支・米三國間の關係改善のため

國民政府 經濟會議計畫

卸賣物價指數 (七月一日現在)

卸賣物價指數 Table showing price index changes for various goods.

六月中の東京 卸賣物價指數

六月末現在 失業者數

六月末現在 失業者數

失業者數 Table showing unemployment statistics for various months.

卸賣物價指數 Table showing price index changes for various goods.

六月末現在 失業者數

六月末現在 失業者數

六月末現在 失業者數

失業者數 Table showing unemployment statistics for various months.

卸賣物價指數 Table showing price index changes for various goods.

六月末現在 失業者數

六月末現在 失業者數

六月末現在 失業者數

失業者數 Table showing unemployment statistics for various months.

卸賣物價指數 Table showing price index changes for various goods.

ロンドン

株式商品市況

七月第二週

ロンドン 七月四日(月)
ロンドン株式市場は引續き強調活潑で、仲買方面の報告による一般公債の需要は過去数ヶ月間見ざる程の多額に上つてゐるとして、相場は一般に引續き強調を呈し、相場の引續き強調は、本日は主として工業株に買氣が集中されてゐるが、しかし外國證券に於ては日本及びドイツ公債の暴騰が目立つてゐる。一方商品市場に連れて一般に引立つてゐる。

ロンドン 七月五日(火)
△株式 先頃來の活況の後を受けてロンドン株式市場は開散、イギリス政府證券及び工業株は引續き強調を呈し、相場の引續き強調は、本日は主として工業株に買氣が集中されてゐるが、しかし外國證券に於ては日本及びドイツ公債の暴騰が目立つてゐる。一方商品市場に連れて一般に引立つてゐる。

ロンドン 七月六日(水)
△株式 初め稍や氣迷ひの姿であつたが、その後ローザンヌより稍や好情報を入れてイギリス政府公債は強調になり、何れも高値で引けた。一方ドイツ公債は大陸筋の需要で更に強調、又パリ一筋は特に鐵山株に買氣を示した。

ロンドン 七月七日(木)
△見送り 本日のニューヨーク株式は正午頃一時引續き強調を示した外、一般に軟調で、大引の相場は前日より概して一ドル乃至四ドル安、スチールは一ドル八分乃至一安の二二ドルとなつた。これは各方面の不安が一掃されるのを待ち、當業者が一般に見送つてゐるためである。銀行方面ではローザンヌ會議の結果について引續き強調を呈してゐるが、然しアメリカの失業救済案が解決せず議會方面の不安を承引かせつゝあること

ロンドン 七月八日(金)
△強調 本日ロンドン株式市場は一段と強調を呈し、就中イギリス政府公債及び大陸公債の暴騰が目立つてゐた。相場場騰の原因は左の通りである。

ロンドン 七月九日(土)
△強調 本日のロンドン株式市場は各方面の不安が一掃されるのを待ち、當業者が一般に見送つてゐるためである。銀行方面ではローザンヌ會議の結果について引續き強調を呈してゐるが、然しアメリカの失業救済案が解決せず議會方面の不安を承引かせつゝあること

ロンドン 七月十日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月十一日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月十二日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月十三日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月十四日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月十五日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月十六日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月十七日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月十八日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月十九日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十一日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十二日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十三日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十四日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十五日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十六日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十七日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十八日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月二十九日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月三十日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 七月三十一日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月一日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月三日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月四日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月五日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月六日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月七日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月八日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月九日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十一日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十二日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十三日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十四日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十五日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十六日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十七日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十八日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月十九日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十一日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十二日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十三日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十四日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十五日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十六日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十七日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十八日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月二十九日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月三十日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 八月三十一日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初一日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初三日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初四日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初五日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初六日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初七日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初八日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初九日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十一日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十二日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十三日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十四日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十五日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十六日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十七日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十八日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初十九日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十一日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十二日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十三日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十四日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十五日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十六日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十七日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十八日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初二十九日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初三十日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 九月初三十一日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初一日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初二日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初三日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初四日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初五日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初六日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初七日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初八日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初九日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月初十日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月十一日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月十二日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月十三日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月十四日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月十五日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月十六日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月十七日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月十八日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月十九日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十一日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十二日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十三日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十四日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十五日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十六日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十七日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十八日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月二十九日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月三十日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

ロンドン 十月三十一日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月一日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月三日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月四日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月五日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月六日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月七日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月八日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月九日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十一日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十二日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十三日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十四日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十五日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十六日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十七日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十八日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月十九日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十一日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十二日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十三日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十四日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十五日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十六日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十七日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十八日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月二十九日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

十一月三十日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月初一日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月初二日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月初三日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月初四日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月初五日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月初六日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月初七日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月初八日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月初九日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十一日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十二日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十三日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十四日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十五日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十六日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十七日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十八日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月十九日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十一日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十二日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十三日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十四日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十五日(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十六日(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十七日(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十八日(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月二十九日(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月三十日(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

十二月三十一日(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九二一年(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九二二年(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九二三年(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九二四年(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九二五年(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九二六年(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九二七年(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九二八年(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九二九年(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三〇年(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三一年(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三二年(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三三年(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三四年(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三五年(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三六年(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三七年(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三八年(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九三九年(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四〇年(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四一年(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四二年(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四三年(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四四年(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四五年(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四六年(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四七年(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四八年(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九四九年(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九五〇年(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九五一年(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九五二年(木)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九五三年(金)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九五四年(土)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九五五年(日)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九五六年(月)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九五七年(火)
ロンドンに於ける休日明けの日

一九五八年(水)
ロンドンに於ける休日明けの日

</

(昭和七年七月三日—九日發信)

棉取の新役員

ニューヨーク六月七日(郵信)

六月六日ニューヨーク棉花取引所役員改選は、その結果現所長ウエルド氏が退いて副所長のウィリアム・ドール氏が、又副所長にはジョン・エイチ・マクファデン氏(John H. McFadden)が選ばれた。ドール氏は本年四十八歳の働き盛りで、アラバマ州の人、先祖は南部の開拓者といふから棉花には因縁が深い譯である。目下ウエルド・ブラザースといふ棉花輸出の重役である。又副所長マクファデン氏は本年四十六歳の父ジョン・マクファデン氏が世界有数の棉花商であつたことは人の知るところであるが、氏もその後を繼いで目下マクファデン商會を主宰してゐる。

棉花市況

リヴァプール七月九日(土)

現物需要は著しく見直した。定期市場では取引稍や活況を呈した。これは軍事公債借替好望とポンド為替下落で配分が一段と樂觀的となつたためである。然し最も有力な強材料は何と云つてもローザンヌ會議が好轉して遂に最後の協定に達したことであつた。加ふるにアメリカ農務省の新棉反別豫想が稍や強氣的だつたことも一層人氣を引立てた。尤も九日(土)には相場は若干引地んだ。これは主として棉産地天候回復の入報があつたためである。エジプト棉には利喰賣りが注がれたが相場はアメリカ棉につれて動いた。

イギリス六月中の紡績棉花引取高

リヴァプール七月五日(火)

今季の需要は若干ながら見直した。一方ヨーロッパは少し買氣も見せなかつた。地場紡績筋からは相当好望あり主としてプロイチ、ドレラ、ベンガル棉に引合ひが注がれた。最近原棉相場の値上りから刺戟されてボンベイ紡績の綿糸布商談は増加してゐる。然し前週かつてはなほなやである。前週末には天候状態について多少の懸念が存してゐたので、その後モンスーンが復活したので、この懸念は一掃された。モンスーンは目下西海岸地方で依然優勢を保持してゐる。オムラ棉産地一帯にも潤雨あり、降雨地域は漸次カシアワール、ゲラト及び中央インド、合併州地方及びパンジャブにも擴大してゐる。

ボンベイ棉花市況

ボンベイ七月九日(土)

今週のボンベイ棉花市場では爲替不利なるにも拘らず日本筋からの需要は若干ながら見直した。一方ヨーロッパは少し買氣も見せなかつた。地場紡績筋からは相当好望あり主としてプロイチ、ドレラ、ベンガル棉に引合ひが注がれた。最近原棉相場の値上りから刺戟されてボンベイ紡績の綿糸布商談は増加してゐる。然し前週かつてはなほなやである。前週末には天候状態について多少の懸念が存してゐたので、その後モンスーンが復活したので、この懸念は一掃された。モンスーンは目下西海岸地方で依然優勢を保持してゐる。オムラ棉産地一帯にも潤雨あり、降雨地域は漸次カシアワール、ゲラト及び中央インド、合併州地方及びパンジャブにも擴大してゐる。

持越高豫想

ニューヨーク六月二日(郵信)

ニューヨーク著名の棉花商たるヴォルカート兄弟商會は本日米棉世界消費豫想を一千二百八十萬俵と訂正發表した。同商會發表のステートメントは左の通りである。前同(三月十一日)の發表以來アメリカの紡績業の不振及び極東に於ける消費見込減で今季の世界の米棉消費豫想を千二百八十萬俵に減せざるを得なくなつた。その結果今季末(本年七月末)持越高は左の如く千二百九十四萬八千俵(單位千俵)に上る見込みである。

綿糸布

マンチエスター七月六日(水)

綿布、綿糸とも需要は香しくなつて、引續き確信海で取引は伸張みマンチエスター七月九日(土)に於ける消費見込減で今季の世界の米棉消費豫想を千二百八十萬俵に減せざるを得なくなつた。その結果今季末(本年七月末)持越高は左の如く千二百九十四萬八千俵(單位千俵)に上る見込みである。

生糸

ニューヨーク七月七日(木)

市況引地み、然しながら配分は良好となつた。當業者は昨日發表されたアメリカ絹業協會の生糸統計がよかつたので氣を良くしてゐる。然し買手の態度強硬なため賣手は相場を引上げること出来ないう状態である。廣幅絹布の商内は見直しつつある。特に新織絹製品が人氣を呼び截断業者は盛んに秋物の日本を取つてゐる。△定期生糸は閑散。

砂糖

ニューヨーク七月九日(土)

好で精糖會社社はその賣り値を〇・一セント引上げ四セント丁度に改めた。

砂糖市況

ロンドン七月九日(土)

ケニアの棚上案成立の報を入られて市況は概して手堅かつた。△粗糖 賣物はぼつぼつあるが商内は少い。△精製糖 取引相當あり、イギリスの精糖會社は賣り値を百十二封度に付三ペンス方引上げた。△定期粗糖 初め取引活況を呈したが、その後ケニアに懸いて浮動した。尤も週末の配分は落付いてゐる。

人絹製品輸入高

インド四月中

△レリオン糸は純狀である。レリオン製局發表によれば、四月中のレリオン製局輸入高は左の通りである。(單位平方ヤード)

砂糖市況

ロンドン七月九日(土)

ケニアの棚上案成立の報を入られて市況は概して手堅かつた。△粗糖 賣物はぼつぼつあるが商内は少い。△精製糖 取引相當あり、イギリスの精糖會社は賣り値を百十二封度に付三ペンス方引上げた。△定期粗糖 初め取引活況を呈したが、その後ケニアに懸いて浮動した。尤も週末の配分は落付いてゐる。

ジャワ砂糖トラスト

昨年産白双賣約

(七、八、九月渡) 二〇〇ト 六月(水) 三〇〇 七月(木) 三〇〇 八月(金) 三〇〇 九月(土) 三〇〇

補償生糸を絹物宣傳に使用

ニューヨーク七月六日(水)

日本の蠶糸中央會が政府に對し補償生糸をアメリカに對する絹物宣傳に使用すべしと提案したとの報あり、ニューヨークの生糸界では非常な興味を以て成行きを眺めてゐる。しかしながら當業者は右の提案の詳細が明かにせられるのを待つて意見の發表を控えてゐる。蓋し右は新聞電報で簡單に報せられたもので、詳細不明なためである。尙ほ右の報道は生糸市場には何等影響を與へなかつた。

アメリカ六月中の生糸需給統計

ニューヨーク七月六日(水)

アメリカ絹業協會發表、六月中のアメリカ生糸統計は左のごとくである。(單位俵)

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
本年一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

年月	輸入高	在荷高	引取高
本年六月	四八、五五〇	三、四二〇	一、六一〇
七月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
八月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
九月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十一月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇
十二月	五〇、三三〇	三、四二〇	一、六一〇

ジャワ第四回 砂糖收穫豫想

スラバヤ七月九日(土)
ジャワ・トラストは一九三二年度ジャワ砂糖第四回收穫豫想を左の通り發表した。(單位メートル・トン)

白双廿五	一、四四一、〇〇一	六、七〇七、二〇三
中双及黄双	一、〇〇〇、〇〇〇	九、八〇〇、〇〇〇
其 他	〇、〇〇〇	五、七〇〇、〇〇〇
合 計	二、四四一、〇〇一	二、五〇七、二〇三

船 舶

海運市況

最近のロンドン海運市場においては需要區々であつた。主なる成約運賃は左の通りである。

サンロ	イギリス、歐大陸又は	五、五〇〇
雑穀	五、五〇〇	二、五〇〇
同上	イギリス、歐大陸	八、二〇〇
同上	イギリス、歐大陸	八、二〇〇
同上	イギリス、歐大陸	八、二〇〇
同上	イギリス、歐大陸	八、二〇〇
同上	イギリス、欧大陸	八、二〇〇
同上	イギリス、欧大陸	八、二〇〇
同上	イギリス、欧大陸	八、二〇〇
同上	イギリス、欧大陸	八、二〇〇

小 麥

シカゴ小麥市況

今週の市況は區々を呈した。冬小麥の産地に豪雨があつたため收穫反別は最近の政府豫想よりも著しく減少するならばと見越す向もあるが、一方春小麥の作柄は平均以上に良好らしい徴候が見える。

一九二七年	二、七〇〇	二、五〇〇
一九二八年	二、七〇〇	二、五〇〇
一九二九年	二、七〇〇	二、五〇〇
一九三〇年	二、七〇〇	二、五〇〇
一九三一年	二、七〇〇	二、五〇〇
一九三二年	二、七〇〇	二、五〇〇

大豆 七、六〇〇 トン
同上 七、〇〇〇 トン
同上 七、〇〇〇 トン

ボルチツツ
備船契約成立
ロンドン七月五日(火)
ロンドン船取所に於て左の如き備船契約が成立した。

スエズ運河會社
副社長新任
パリ七月四日(月)
スエズ運河開鑿以來の歴史を跨るスエズ運河會社は、五月廿三日逝ンチケープ卿が去る五月廿三日逝

船用新燃料
試験成績良好
ロンドン七月五日(火)
過般キユーナード汽船シニア號に試用せられた特殊の燃料は成績頗る良好なることが判明した。

長春丸沈没
大連七月六日(水)
スエズ運河開鑿以來の歴史を跨るスエズ運河會社は、五月廿三日逝ンチケープ卿が去る五月廿三日逝

満洲農作物作柄 收穫は平年以下

新京七月八日(金)
満洲國本年度の農作物作柄如何は各方面から至大の關心を以て注視されてゐるが大體に於て、天候雨量も適順だつたので平年に比し平均二割増の見込みで、この分なればと農民の眉宇には喜色が漂つてゐる。

ゴム市況
ロンドン七月九日(土)
今週のロンドン・ゴム市場は他の多くの商品市場と同じく株式の活況及びローザンヌ會議の成功の報に刺戟されて氣配全週を通じて強調であつた。

ゴム輸出入額
シンガポール七月四日(月)
六月中のマレー・ゴム輸出入額は左の通りである。(單位トン)

輸出總額	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
米國	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
英國	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
日本	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
其他	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

満洲海關接收のため支拂不能
上海七月五日(火)
滿洲國の滿洲海關接收に關し五日上海に在る總稅務司サー・フレデリック・メイズ氏は左の如きステートメントを發表した。

満洲國の税制
中央集權成る
新京七月四日(月)
滿洲國は曩に鹽務行政の獨立を

貨借對照表

貸出總額	一、〇〇〇、〇〇〇
貸入總額	一、〇〇〇、〇〇〇
貸出超過	一、〇〇〇、〇〇〇
貸入超過	一、〇〇〇、〇〇〇

損益計算表	一、〇〇〇、〇〇〇
營業收入	一、〇〇〇、〇〇〇
營業支出	一、〇〇〇、〇〇〇
營業利益	一、〇〇〇、〇〇〇

利益金處分	一、〇〇〇、〇〇〇
利益金	一、〇〇〇、〇〇〇
利益金	一、〇〇〇、〇〇〇
利益金	一、〇〇〇、〇〇〇

東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇

東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇

東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇

東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇
東邦電力株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇

(昭和七年七月三日—九日發售)

益々良好な 人絹會社の業績

△次期は全能力操業か▽

人絹業界は上半期(昨年十二月より今年五月)は未曾有の發展を遂げ生産、輸出、内地出荷共從來の記録を更新し、各社舉つて収益率を上げたが、併し下半年(本年六月以降十一月)に對しては、一、金融再禁裏の反動、二、我が國關稅引上げによる仕向、三、下各國の需要不振、四、天然絹糸の市價暴落による業界壓迫。

等々の懸念により一部有力社を除いて各社共自重し、可能な増配さへも断念して銷却に振向け剩餘を社内保留してこれに備へた位であつた。然るに下半年に入つてからは右の如き悲觀懸念殆んど解消し前途頗る樂觀視されるに至つた。これがため次期(十月より本年末)操業率は現行二割五分の操短を廢し、全能力生産を爲しても支障なき状態を呈するに至つた。即ち一、夏枯期に向ふ昨今の手當は四五月にも劣らぬ荷捌を見せせてゐる事。

二、圓爲替の崩落に次ぐ市價の暴落は益々輸出を促進せしめ、仕向各國の關稅引上げも殆んど影響なく、エヂプトに對する賣止め申合せの如きも形式的なモラル・サポートに過ぎず、次

出超七百三十萬圓

大藏省發表、七月上旬の主要十港貿易額は左の通りである。

(單位千圓)

七月上旬	
輸出	元〇五九 五八、八八六 六〇〇〇元
輸入	三、七六一 八三、八三〇 七六、三三三
出超	七、七六六 二五、〇五六 八三、六六七
【備考】	△印は入超。累計額は十港以外諸港貿易額をも含む。最近數旬の數字は左の通りである。(單位千圓)
輸出	入 入 入 入 入 入 入 入 入 入
五月下旬	三、九七五 五五、一五二 〇、四四三
六月上旬	三、〇〇〇 〇、四四三 〇、四四三
中旬	元、〇五九 〇、五五九 二、五五九
下旬	元、四四三 〇、五五九 〇、五五九
七月上旬	元、〇五九 〇、五五九 〇、五五九

綿業統計

六月下旬の綿糸輸出高

六月下旬の綿糸輸出高	
滿洲	三、三三三 三、三三三
香港	三、三三三 三、三三三
支那	三、三三三 三、三三三
印度	三、三三三 三、三三三
英領	三、三三三 三、三三三
蘭領	三、三三三 三、三三三
アフリカ	三、三三三 三、三三三
其他	三、三三三 三、三三三
合計	三、三三三 三、三三三

六月中の本邦綿糸生産高

六月中の本邦綿糸生産高	
粗布	一、〇〇〇 一、〇〇〇
細布	一、〇〇〇 一、〇〇〇
天竺	一、〇〇〇 一、〇〇〇
綾木綿	一、〇〇〇 一、〇〇〇
生金巾	一、〇〇〇 一、〇〇〇
小幡木綿	一、〇〇〇 一、〇〇〇
合計	一、〇〇〇 一、〇〇〇

六月中の對外貿易概算

六月中の對外貿易概算	
輸出	一、〇〇〇 一、〇〇〇
輸入	一、〇〇〇 一、〇〇〇
出超	一、〇〇〇 一、〇〇〇

東株科學

七月第二週

前週末の活況を受けて週初めの短期新東は一圓方上放れ百四十八圓九十銭に寄付き同日中五十一圓九十銭と買進まれて五月下旬以来の五十圓臺を示した。

この邊りが人氣の最高調時で月初め諸種の財界策策實施から濃厚となつた政策期待人氣は、勿論一方にはローザンヌ會議の進行等を注目する一部の仕手も

六月中のレーヨン生産高

六月中のレーヨン生産高	
日本絹聯合會調查	本年六月
中の本邦レーヨン生産高	左の通りである。(單位百担度)
五月	九、九〇〇 七、三三三
六月	三、三三三 三、三三三
合計	三、三三三 三、三三三

選境は良好

あつたが、これは未だ相場を刺戟する域には達せず主として内地的原因による動きに止まつた。

環境の動きを見ては砂糖清算は五日一圓二銭と昭和五年以来の高値を示し、綿糸は六日百四十圓三十銭とこれ五月初旬以来の高値を示現した。

卸賣物價

清算市場は證券と言はず商品と言はず何れも熱狂的人氣を示したが卸賣物價が昨年の金再禁止以前の低位を示せる事實は清算市場が實際の需給と甚しく背馳せるを證明する最も有力なるものである。

港別

港別	
横濱	六、七七一 五、七五〇
神戸	二、三三三 七、三三三
大阪	六、七七一 六、四八八
長崎	一、三三三 一、三三三
門司	一、三三三 一、三三三
函館	一、三三三 一、三三三
名古屋	一、三三三 一、三三三
四日市	一、三三三 一、三三三
清水	一、三三三 一、三三三
鹿兒島	一、三三三 一、三三三
小樽	一、三三三 一、三三三
下松	一、三三三 一、三三三
武庫	一、三三三 一、三三三
尾道	一、三三三 一、三三三
徳山	一、三三三 一、三三三

棉花輸入高

棉花輸入高	
六月下旬	三、三三三 三、三三三
九月以降	三、三三三 三、三三三
合計	三、三三三 三、三三三

重要商品輸出入額

重要商品輸出入額	
金銀塊輸出入額	三、三三三 三、三三三
米及穀類	三、三三三 三、三三三
生糸	三、三三三 三、三三三
綿糸	三、三三三 三、三三三
茶	三、三三三 三、三三三
糖	三、三三三 三、三三三
油	三、三三三 三、三三三
其他	三、三三三 三、三三三

週統計

アメリカ通貨及金融状態

(7月6日現在、單位百萬ドル)

Table with columns for assets and liabilities, comparing current and previous periods. Includes items like '金保有高', '通貨流通高', '準備銀行割引手形'.

アメリカ聯邦準銀週報

(7月6日現在、單位百萬ドル)

Table showing Federal Reserve assets and liabilities. Columns include '資産部' and '負債部' with sub-items like '資産總額', '負債總額'.

イングランド銀行週報

(7月6日現在、單位千ポンド)

Table of Bank of England assets and liabilities. Columns include '政府預金', '民間預金', '内銀行', '政府證券'.

フランス銀行週報

(7月1日現在、單位百萬フラン)

Table of Bank of France assets and liabilities. Columns include '金準備', '紙幣流通高', '金準備率'.

ライヒス銀行週報

(7月7日現在、單位百萬マルク)

Table of Reichsbank assets and liabilities. Columns include '兌換準備總額', '内金準備', '外國爲替'.

日本銀行週報

兌換券發行高 (日本銀行 7月5日 発表6月26日-7月2日 平均、單位千圓)

Table of Bank of Japan exchange bill issuance. Columns include '發行高', '正貨準備', '保證準備'.

營業報告 (7月2日現在、單位千圓)

Table of business reports for various departments. Columns include '資本金', '積立金及損益金', '發行兌換銀行券'.

インド政府通貨週報

(6月30日現在、單位十萬ルピー)

Table of Indian government currency. Columns include '紙幣流通高', '銀塊銀貨', '金塊金貨'.

上海銀在荷高

Table of Shanghai silver in the Netherlands. Columns include '上海市中總在荷高', '内支那銀行手持高'.

アメリカ棉花統計

(ニューヨーク棉花取引所發表、7月8日迄今季累計、單位千俵)

Table of US cotton statistics. Columns include '出廻高', '米國紡績引渡高', '輸出高'.

世界紡績米棉引取高

(ハスター氏7月8日發表、單位千俵)

Table of world spinning cotton and rice. Columns include '今週', '前週'.

エジプト棉花統計

(アレキサンドリヤ一般取引所發表、7月8日迄今季累計、單位千カントー)

Table of Egyptian cotton statistics. Columns include '入荷高', '輸出高', '在荷高'.

ボンベイ棉花統計

(ボンベイ棉花取引所發表、昨年9月1日より本年7月7日迄累計、單位千俵)

Table of Bombay cotton statistics. Columns include '入荷高', '輸出高', '在荷高'.

キューバ砂糖統計

(ウイレット・グレー商會7月2日調、單位トン)

Table of Cuban sugar statistics. Columns include '新糖', '舊糖', '輸出港在荷'.

イギリス・ゴム統計

(ロンドン・ゴム協會發表、單位トン)

Table of British rubber statistics. Columns include '入荷高', '引取高', '在荷高'.

週末在荷民間豫想

7月8日(金) 450トン減

Table of weekend stock market forecasts. Columns include '入荷高', '引取高', '在荷高'.

週末在荷民間豫想

7月8日(金) 300トン減

大連埠頭特産物荷動統計

(6月26日-30日、單位キログラム)

Table of Dalian port special products. Columns include '大豆', '豆油', '在庫高'.

7月1日-5日

Table of Dalian port special products (continued). Columns include '大豆', '豆油', '在庫高'.

金 物 相 場	ロンドン	(一 封 度 建)										海峽銀c.i.f. 紐育一ロ一車25トン一封度に付	電 氣 銅 (一 封 度 建) 6, 7, 8月限	ア 輸 出 會 社 銅 社 公 定 相 場	c. i. f. 橫 濱 (一 噸)	c.i.f. ハ ン プ ル グ (一 封 度)	海峽銀 一 擔 建
		標 準 銅		電 氣 銅		標 準 錫		鉛		亜 鉛							
		現 物	先 物	買 手	賣 手	現 物	先 物	現 物	先 物	現 物	先 物						

ニ ュ ー ヨ ー ク	7月 5日(月) (ピツパルク渡)				7月 7日(木)				7月 9日(土)				
	鉄線第二號錫物用.....(一噸)	14.00	鉄カ(プライム・ベ.....(一箱)	4.75	アイアン・クラウンバー	9 3/4	アイアン・アングル	9 1/2	アイアン・テイス	9 3/4	スチール・シツプ・プレート	7 3/4	ボイラー・プレート

棉 相 場	ニ ュ ー ヨ ー ク	(一 封 度 建)										10月限	ア レ キ サ ン ド リ ヤ
		7月限	10月限	12月限	1月限	3月限	5月限	現物	高 値	安 値			

花 相 場	ニ ュ ー オ リ ン ス	(一 封 度 建)							△印名目 (一 キ ャ ン デ ィ ー 建)				プ ロ ー チ	
		10月限	リ ヴ ア プ リ ル	10月限	12月限	1月限	3月限	5月限	現物	ベンゴール	F.G. 7月限	オムラ F. 12,1月限	プローチ F.G. 7,8月限	4,5月限

場	大 阪	米 棉 (ストリクト・ミドリング) 一 擔 建							一 擔 建 (400 封 度)						
		7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	1月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	1月限

綿 糸 布 相 場	巨 海 綿 糸	右20手(一 擔 建)		7月 6日(水)		7月 2日(土)		一 擔 建 (400 封 度)						
		7月限	12月限	20手	7片 1/2	8片 1/2	20手	7片 1/2	8片 1/2	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限

生 糸	ニ ュ ー ヨ ー ク	定 期 (一 封 度 建)														7月限		賣 買 出 來 高
		7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	1月限	2月限	高 値	安 値							

糸 相 場	△印名目	ニ 市 中 現 物 相 場	日 本 生 糸										白 十 四 中 D 絡, 十 斤 建					
			7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	1月限	2月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限		

場	ロンドン	(一 封 度 建)					7月 4日(月)		巨 海	7月 4日(月)	
		支那再織糸	リオン經糸	日本機械糸	日本糸	支那糸	廣東良一	機械糸白各中		共通特優格	

砂糖	ニユーヨーク	市中出来値	定期 (一封度)				粗糖 (甘蔗糖 96% c.i.f.)			轉賣市場出来値 (白双百基瓦建) △印見當					
		7月	9月限	12月限	3月限	5月限	8月限	10月限	12月限	直渡	7月渡	8月渡	9月渡	10月渡	
		休	仙	仙	仙	仙	志片	志片	志片	原	原	原	原	原	
		賣手 0%	0.96	1.01	1.02	1.06	5.10%	5.11%	6.00%	6.00	6.00	6.00	6.00	6.15	
		0%	0.95	1.00	1.00	1.04	5.11%	5.11%	6.00%	6.00	6.00	6.00	6.00	6.15	
		1	0.99	1.03	1.03	1.08	5.09%	5.10%	5.11%	6.00	6.00	6.00	6.00	6.15	
		1%	1.02	1.05	1.04	1.09	5.10%	5.11%	6.00%	6.00	6.00	6.00	6.00	6.15	
		休	—	—	—	—	5.11%	5.11%	6.01%	6.00	6.00	6.00	6.00	6.15	
		休	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		休	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

相場	東京	分蜜糖保稅品 (百斤建)						分蜜糖保稅品 (百斤建)						本船直渡 (百枚建)		ヘシ		ジュート	
		7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	7月渡	9月渡	7月渡	9月渡		
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
		10.40	—	—	—	10.79	10.91	10.36	—	—	—	—	10.82	10.94	22%	25%	10%	25%	
		—	10.43	—	10.60	10.70	10.87	—	10.39	10.49	10.59	10.68	10.79	—	—	—	—	—	
		10.23	—	—	—	—	10.81	—	—	—	10.53	10.32	10.76	—	—	—	—	—	
		—	—	—	10.43	10.53	10.74	10.10	—	10.31	10.41	10.52	10.67	—	—	—	—	—	
		—	—	—	10.59	10.69	10.82	10.22	—	10.40	10.51	10.62	10.73	—	—	—	—	—	
		10.40	10.48	10.59	10.69	10.79	10.92	—	10.36	—	10.55	10.69	10.82	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

油脂相場	ニユーヨーク	棉實油 (一封度)	現物, 關稅済 (亞麻仁油及菜種油は一ガロン, 其他一封度に付)				亞麻仁油, ロンドン渡		亞麻仁油, ロンドン渡		トリアイ種	
		10月限	1月限	7月 6日(水)		大豆油 (粗製, 太平洋)		8月限		7月 7月封度		
		仙	仙	仙		3仙%		志		志		
		休	—	—		落花生油 (粗製同)		賣手 13%		賣手 13%		
		4.08	4.20	—		7仙%		同 13%		同 13%		
		4.25	4.33	—		椰子油 (精製, 同)		同 12%		同 13%		
		4.10	4.20	—		3仙%		賣手 13%		同 13%		
		4.10	4.18	—		支那桐油 (精製, 太平洋)		同 13%		同 13%		
		4.10	4.16	—		荏油 (同上)		同 13%		同 13%		
		—	—	—		蓖麻子油 (第三號精製)		同 13%		同 13%		

小麥	シカゴ	一アツセル建			7月限		取引	一アツセル建			一アツセル建				
		7月限	9月限	12月限	高値	安値		7月限	9月限	7月限	9月限	7月限	10月限	12月限	
		仙	仙	仙	仙	仙		千アツセル	仙	仙	仙	仙	仙	仙	
		休	—	—	—	—		—	休	—	—	—	—	—	
		47%	50%	53%	47%	46%		2,000	47%	46%	48	47	53%	56%	57%
		49	51%	54%	49	47%		2,000	48%	47%	48	47%	53%	56	57%
		48%	51%	54%	49%	48%		3,000	48	47%	48	47%	54%	57	58%
		48%	51%	54%	48%	48%		—	48%	47%	48	47%	53%	56%	57%
		48	50%	53%	48%	47%		1,000	48	47%	48	47%	54%	57	58%
		—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	53%	56%	58%

相場	リヴァプール	百封度建			メ	と	四十九封度建		一石建			一石建		
		7月限	10月限	12月限			7月限	9月限	7月限	8月限	9月限	7月限	8月限	9月限
		片	片	片			片	片	圓	圓	圓	圓	圓	圓
		56%	58%	60%			38	1.8.200	24.30	24.60	24.74	24.25	24.77	25.12
		56%	57%	59%			38	—	24.15	24.54	24.68	24.12	24.63	25.00
		57%	58%	60%			38	1.8.350	23.98	24.20	24.17	24.00	24.48	24.78
		58	59%	61%			38	1.8.250	23.43	23.81	24.00	23.74	24.10	24.35
		58%	60	61%			38	—	23.72	24.10	24.21	23.90	24.38	24.60
		57%	58%	60%			38	1.8.050	23.02	23.29	23.39	23.34	23.70	23.89
		—	—	—			—	—	—	—	—	—	—	—

ゴム相場	ロンドン	シート (一封度)				ニユーヨーク	シート (一封度)		シート (一封度)		競賣相場最高値
		(現物)		(10.11.12月渡)			現物	10.11.12月渡	7月6日(水)		
		買手	賣手	買手	賣手		買手	賣手	(一封度に付)		
		片	片	片	片		仙	仙	クレープ(ゴッド)		
		1%	1%	1%	2		2%	2%	5仙%		
		1%	1%	1%	2		2%	2%	シート(ゴッド)		
		1%	1%	1%	1%		2%	2%	5仙		
		1%	1%	1%	2		2%	2%	△賣出高 735トン		
		1%	1%	1%	2		2%	2%	△賣上高 563トン		
		1%	1%	1%	2%		2%	2%	—		

満洲特産物相場	大連	十四日限, 一枚銀建 (△印前引)						月末限, 百斤銀建 (△印前引)					7月限		
		現物	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	現物	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	高値	安値
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
		1.630	1.630	1.665	—	—	—	1.660	1.630	5.17	5.15	5.23	5.26	5.17	—
		1.645	1.645	1.675	—	—	—	1.650	1.625	5.22	5.21	5.27	5.30	5.20	—
		1.650	1.660	1.685	1.700	—	—	1.660	1.640	5.30	5.29	5.36	5.39	5.29	—
		1.635	1.630	1.665	—	—	—	1.660	1.625	5.25	5.21	5.28	5.32	5.22	—
		1.650	1.650	1.685	—	—	—	1.650	1.640	5.30	5.26	5.34	5.38	5.25	—
		1.630	1.630	1.670	1.670	—	—	1.640	1.625	5.29	5.27	5.33	5.36	5.24	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

金融統計	日本銀行帳尻	十四日限, 百斤銀建 (△印前引)				日本金百圓建		7月13日限			大連特産物賣買出来高		現物		ハルピン豆相場
		現物	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	7月13日限	7月23日限	高値	安値	豆油	大豆	豆粕	
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	百斤	車	千枚	
		13.85	13.95	14.05	—	—	—	78.10	—	78.55	77.30	30	198	117	
		14.15	14.10	14.20	14.30	—	—	77.55	—	78.90	76.50	115	187	55	
		14.10	14.15	14.25	14.35	—	—	78.45	—	78.80	77.20	90	354	102	
		14.30	14.25	14.25	—	—	—	79.90	80.10	80.70	78.60	50	258	72	
		14.20	14.30	14.40	14.50	14.60	—	80.10	80.35	80.50	79.60	50	248	51	
		14.30	14.30	14.45	14.60	—	—	81.45	81.65	82.40	79.90	150	449	52	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

金融統計	日本銀行帳尻	翌日繰越 (単位千圓)				東 京				大 阪			
		交換券発行高	正貨準備	預 金	貸出高	交換高	交換尻	交換高	交換尻	交換高	交換尻		
		1,047,968	429,065	154,294	776,203	58,739	10,657	52,213	7,040				
		1,029,533	429,065	156,221	759,761	70,015	8,796	49,613	6,552				
		1,011,897	429,065	148,975	739,126	79,832	14,028	53,918	5,537				
		992,363	429,066	157,676	723,974	138,511	8,375	42,114	4,546				
		981,961	429,066	169,031	721,874	66,840	13,723	37,713	4,507				
		984,391	429,066	175,185	721,180	101,307	14,049	38,904	3,915				
		—	—	—	—	—	—	—	—				
		—	—	—	—	—	—	—	—				

東京株式長期清算取引相場

(後單位・大引錢)

Table with columns: 郵船, 同新, 商船, 同新, 富士紡, 同新, 日清紡. Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

Table with columns: 日清紡新, 東洋紡, 同新, 片倉製絲, 日糖, 同新, 臺灣製糖. Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

Table with columns: 灣糖新, 新高製糖, 同新, 帝國製糖, 同新, 明治製糖, 同新. Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

Table with columns: 大連信新, 橫濱取引, 東京米商, 同新, 大新, 大連株商, 鐘紡(第二), 同新(第二). Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

Table with columns: 東株(第二), 同新(第二), 國際通運, 橫濱船渠, 石川島造船, 北海炭礦, 同新, 磐城炭礦, 入山探炭, 同新, 三菱製業, 同新, 東京製網, 日本鋼管, 同優先, 東洋製鐵, 大日麥酒, 同新, 麥酒鑛泉. Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

Table with columns: 麥酒鑛新, 日魯漁業, 同新, 人造肥料, 同新, 電氣化學, 同新, 帝國火藥, 熱帶產業, 品川白煉, 日本七メ, 淺野七メ, 同新, 同第二新, 磐城七メ, 同新, 日本產業, 同新, 日本石油, 同新. Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

Table with columns: 興銀, 東拓, 同新, 秋田木材, 同新, 玉川水道, 東京瓦斯, 東京電燈, 鬼怒川電, 同新, 東信電氣, 同新, 北海道電, 同新, 東邦電力, 大同電力, 同新, 日本電力, 同新, 日活, 同新, 松竹キネ, 富士製紙, 同新, 王子製紙, 同新. Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

Table with columns: 樺太工業, 同新, 帝國製麻, 同新, 大日本水, 同新, 森永新, 三越, 同新, 日清製粉, 同新, 出來高, 短期, 新東株, 鐘紡. Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

Table with columns: 新鐘紡, 新日糖, 明糖, 新郵船, 新麥酒, 新淺野. Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

Table with columns: 日本產業, 日本石油, 新南滿, 東京電燈, 新富士紙, 王子製紙, 出來高. Rows: 7月 4日(月) to 9日(土).

圓億壹 金本資



行銀井三 株式會社

地番壹町河駿區橋本日市京東

番一〇三二自 番一二一一自 (24)橋本日・話電
番四〇三二至 番九二一一至
番五〇三二長 番〇二一一長

店支屋古名 店支濱橫 店支樽小 (京東)店支内之丸 (京東)店支橋本日
店支西阪大 店支島堂阪大 店支阪大 店支都京 店支津前上屋古名
店支關下 店支島廣 店支戶神 店支場船阪大 店支口川阪大
店支海上 店支崎長 店支岡福 店支松若 店支司門
店支育紐 店支敦倫 店支買孟 店支ヤバラス 所張出連大店支海上

輯編部查調濟經社合聯聞新

刊 說解濟經外海 日

海外經濟事情解説に就て

昭和四年六月大阪の有力實業家達が發起してドイツへ經濟通信員を派遣する計劃を樹て、同國産業合理化の實狀並に經濟復興の模様を各部門に亘り詳細調査報告せしめることになりました。

この任に當る爲め新聞聯合社の塚本義隆君が最初に選ばれて直にベルリンへ派遣され、二年餘滞在の上昨秋歸朝致しました。其の後任としては鹽見恒明君が現在同地へ行つて居ります。開始以來今日まで三ヶ年間に我が國經濟界の參考となるべき貴重な報告が百三十餘回参りました。短文のものは「聯合通信」を通じてその都度贊助者各位に即報し、又比較的長文のものは小冊子として刊行配布致しました。この小冊子の數も十冊に及んで居ります。

一方この計劃を贊助された人々の數は第一年に於て約二百名、第二年は三百名、更に第三年には四百名に増加しました。贊助者には一口に付一年金五拾圓を出して戴きました。斯く多數の贊助を得てこの計劃を有意義ならしめ、所期の目的を果したので六月末限り一旦この計劃を終了することになりました。

然し乍ら右贊助者各位には從來よりドイツからの報告のみでなく新聞聯合社にて編輯する海外諸國の經濟時事に關する解説を日々差して居ります。而してこの解説が非常に有益であるから引續き是非配布せよとの御希望が多いのに鑑み、新聞聯合社ではこれまでの「ドイツ通信」の仕事は一切其の儘繼承し、今回當社事業の一部として行ふことになりました。

ベルリンへ派遣されてゐる鹽見通信員は引續いて同地へ滞在し、最近ドイツに澎湃として起りつゝある所謂「計劃經濟」或は「統制經濟」(Planwirtschaft)運動を調査研究し、又非常時突破を期するドイツの政治、經濟、産業界の實狀を報告して來る手筈に致して居ります。更にアメリカ、イギリス、フランス諸國に於ける經濟狀況をも研究する爲め當社社員を特派する計劃をも内々進めて居ります。これ等の實狀報告と當社内の經濟調査部に於て編輯する「解説」等を取纏め、七月より左の如き内容の特別通信を開始致します。

- 何卒御加入下さるやう御願ひ申上げます。
一、通信の名稱 海外經濟解説
一、通信の内容 四六倍判毎日二葉以上(休日を除く)
一、料 金 一ヶ年五拾圓

昭和七年七月

新聞聯合社

社合聯聞新

支社 五二ノ二島之中區北市阪大 番〇〇〇八六阪大座口替振 九ノ八西座銀區橋京市京東 番九三〇一三京東座口替振 本社

○本誌定價 一ヶ月分金一圓、一ヶ年分金十圓

廣告料金

普通面一行一圓五十錢

發行所

東京市京橋區銀座西八丁目九番地

新聞聯合社

電話總機代表番號(7)二二三番(8) 振替貯金口座東京三三〇三九番

編輯發行兼印刷人 大川幸之助

經濟

前頁より續く

解説

一般

世界經濟界疾風怒濤の一年
フランスシートの北米合衆國
インドのボーイコット
ソグイエートの昨年の對獨註文額
ダニエウグ河畔の諸國經濟聯盟案
繁榮のフランス
その後のボンベイ日光節約時刻
購買力指數
ソグイエートの世界的經濟地位
トルコへの機械掛賣
アメリカ農村疲弊狀態
アメリカ失業救濟事業
物價と生活費
産業合理化再吟味
勞働時間の短縮
フランスの經濟(國家主義の經濟)
南米チリーの革命
世界工業品生産高
賠償解決案
關稅引下げ氣運

金・銀

金本位制はどうなるか
銀相場と銀問題
チリ金本位停止
ギリシャ金本位停止
銀の正貨復活
フランスの金穴
南阿の金本位制固執
アメリカの金
再禁と自由金
ゴールドデレグレーションの金問題最終報告
ユ・エ・ス
チール協定再吟味
鋼鐵住宅實用化
ユ・エ・ス
同社の貸銀引下問題
アメリカ鋼鐵關稅實施
綿業
ランカンシア綿業界
その後のボンベイ
上海港綿業統計
ロシアの棉作近況
アメリカ棉布週間
米棉空前の安値

アメリカ

復興金融會社法案(可)
可と共に大統領聲明
フランスシートの北米合衆國
經濟難の打開
失業救濟法案
事業會社營業收益
五日週間制提唱
提出物價引上案
失業救濟事業は焦眉の急
景氣回復委員會
バトラー氏の高唱
轉換期に立つ商業政策
不景氣よりの轉機
對外國問題
對日經濟協約會
各州の對外貿易狀況
ラベック反對主張
米佛輸入割當協定
國際經濟會議議案通過
昨年度國際收支
國庫の赤字
各都市の財政難
販賣稅賦課案
豫算均衡の必要力説
豫算赤字穴埋策
新歲入案
恩給現金支拂案
聯邦經費節約案
證券取引稅上院
財政委員會通過
消費稅法案否決
所得稅は大戦當時同様
公債發行案採擇
關稅問題
新關稅法案通過を急ぐ
同案下院通過
關稅改正法案

株式

空賣り取締
空賣問題聲明
上院銀行委員會
崩落原因の調査
空賣禁止の目的
スチール株各國手持高
外債發行で銀行大儲け
未曾有の逼迫暴露
デフレシヨンの傾向に變化なし
緊急金融擴張案
對米債務不拂國
の募集禁止案
ニューヨーク準銀利下
國庫證券賣出
全銀行統制計畫
準銀行用擴張政策
準銀利下騰原因
準銀利下理由
シカゴの銀行休業
金問題
金本位維持の必要を力説
金本位放棄否決定
金流出増加
現金死蔵防止問題
金再禁論と自由金
金流出減少
フランスに金引揚要求
金本位に對する考察
銀塊
ハーマン商會年報
金銀復本位
國際銀會議計畫
州下院委員會で調査
銀買上法案上院に提出
銀價回復に關する提案
銀による戰債支拂問題
委員會で決案上院
復興金融會社
法案議會通過確實
法案兩院通過
大統領署名
資金支出案提出
營業開始近し
政府出資額支出案通過
右大藏省證券發行
理事人選決定
社債の一部公募

銀行・會社

政府引受資本拂込
農家貸付條件
活動狀態
ドーズ氏辭職
ザンシエロ鐵道員賃引下
ナッシュビル鐵道俸給引下
アトランチック・コビー
スト・ライン鐵道減俸
外債發行による銀行の利得
ルイジアナ鐵道賃引下
スチール會社減收
ゼネラル・モーター
タリス會社減收
米獨合辦マゲネシウム會社
鐵道賃銀協定成立
スチール會社社長交渉
ゼネラル電機純益額
スタインバーク
商會取引停止
マツケオン商會々員權停止
證券投資會社創立
會社配當
△金物會社
ユ・エ・ス・スチール
ベレル・スチール
ケネコット銅山
ネバダ銅山
インターナショナル
ナル・ニックス
アメリカン精煉
△鐵道會社
デラウエア
ラッカワナ
ユニオン・パ
サザン・パシフィック
アチソン・トベカ
デラウエア・ハドソン
セントラル
ニューヨーク
ニューヘブロン
△其他
ゼネラル・モーター
イオストマン
デュー・ボン社
アメリカ電話電信
ウェスターン
ユニオン電信
スタンダード石油
ゼネラル電機

棉花

同全能力の二割操業
同缺損額
銅關稅實施と相場
季末供給過多か
ウエルズビ氏前途樂觀的聲明
ルウシルド氏減反法消滅
ミシシッピ棉花
上海向け棉花
海上保險撤回
米棉以外の棉產豫想
共販組合延長案
復興金融會社の農家貸付條件
農務局手持棉
花處分問題
收穫高訂正コメント
米棉空前の安値
綿業
南部紡績減產案
生地綿布減產案
綿布週間
日本絹製品不買運動
絹製品消費促進運動
絹業統制案を
置けとの提案
日本絹業處分に關する意見
ジャバリー氏
糸界前途樂觀
糸界關稅設定を請願
ジャバリー氏語る
レーヨン販路に生糸食込む
相場は引下げられるか
グイスコス社工場閉鎖
デューボン社同
レーヨン販路に
生糸が侵入す
ニューヘブロン糸値下
△其他
ゼネラル・モーター
イオストマン
デュー・ボン社
アメリカ電話電信
ウェスターン
ユニオン電信
スタンダード石油
ゼネラル電機

北米(合衆國を除く)

糖蜜殘滓から肥料發見
ゼネラル・モーター
イス販賣高減少
アメリカ甜菜豫想發表日
イオストマン氏自殺
大豆の對獨輸出
GM課稅問題
ニューヨーク定期
GM保證金引上
農村疲弊狀態
メキシコ政府銀買上
カナダ、フランス
間の通商條約廢棄
ケネバの地震被害
チリの金
本位停止
日本、ワルグアイ
通商協定の必要
チリ革命成功
ボリビア錫減產協定案受諾
ブラジルのコヒー宣傳
チリ(外貨預金)
政府(引渡預金)
キューバ糖湖上

中南米

對外國問題
賠償問題英佛會議
外國工場設置計畫
クレチット償還
日支向貨物
時保險率廢棄
對外貿易の障害
保險界は極東の事態重視
對滿貿易影響
世界經濟會議計畫に
チヤール氏贊成
ヨロツパ貸付
問題研究委員會
財政問題
所得稅引上
昨年度國際收支
國庫剩餘金
財政法案
各國株取の聯結計畫
綿業界の改善
貸付研究委員會
歐洲聯合案
タニユーブ沿岸
英佛協力に決定
四國會議開催決定
ドイッ參加受諾
英佛豫備會の調查報告
經濟聯盟案
四國會議は失敗
各國の利害關係
聯盟理事會の審議
國際商議の決議

イギリス

昨年の經濟界通觀
金持國の融資必要を力説
ポンド本位說提唱
自由港制度採用か
モンタギュー銀塊年報
ポンド價問題
自由貿易の必要強調
夏季時刻開始
就業率増加か
物價引上目的の通貨政策
銀問題注意喚起
炭坑法案
對外國問題
賠償問題英佛會議
外國工場設置計畫
クレチット償還
日支向貨物
時保險率廢棄
對外貿易の障害
保險界は極東の事態重視
對滿貿易影響
世界經濟會議計畫に
チヤール氏贊成
ヨロツパ貸付
問題研究委員會
財政問題
所得稅引上
昨年度國際收支
國庫剩餘金
財政法案

ドイツの銀行合同
パリへの銀行改造
低金利への世界的動向
各國のステール株手持
ドイツ新内閣とインフレーション
アメリカ證券投資會社
アメリカ恩給軍奮進
アメリカの金本位
ロシヤ食品配給問題
ゴム減產協定不成立
クローゲル氏の失態
アメリカ事業
會社營業收益
イギリスの同上
ドイツの大汽船の整理
パブソンの教訓
アメリカ農家
破産の珍現象
砂糖相場見直し歩調
通貨價值下落國からの輸入品に課稅
關稅改正案拒否
株式
空賣り取締
空賣問題聲明
上院銀行委員會
崩落原因の調査
空賣禁止の目的
スチール株各國手持高
外債發行で銀行大儲け
未曾有の逼迫暴露
デフレシヨンの傾向に變化なし
緊急金融擴張案
對米債務不拂國
の募集禁止案
ニューヨーク準銀利下
國庫證券賣出
全銀行統制計畫
準銀行用擴張政策
準銀利下騰原因
準銀利下理由
シカゴの銀行休業
金問題
金本位維持の必要を力説
金本位放棄否決定
金流出増加
現金死蔵防止問題
金再禁論と自由金
金流出減少
フランスに金引揚要求
金本位に對する考察
銀塊
ハーマン商會年報
金銀復本位
國際銀會議計畫
州下院委員會で調査
銀買上法案上院に提出
銀價回復に關する提案
銀による戰債支拂問題
委員會で決案上院
復興金融會社
法案議會通過確實
法案兩院通過
大統領署名
資金支出案提出
營業開始近し
政府出資額支出案通過
右大藏省證券發行
理事人選決定
社債の一部公募
政府引受資本拂込
農家貸付條件
活動狀態
ドーズ氏辭職
ザンシエロ鐵道員賃引下
ナッシュビル鐵道俸給引下
アトランチック・コビー
スト・ライン鐵道減俸
外債發行による銀行の利得
ルイジアナ鐵道賃引下
スチール會社減收
ゼネラル・モーター
タリス會社減收
米獨合辦マゲネシウム會社
鐵道賃銀協定成立
スチール會社社長交渉
ゼネラル電機純益額
スタインバーク
商會取引停止
マツケオン商會々員權停止
證券投資會社創立
會社配當
△金物會社
ユ・エ・ス・スチール
ベレル・スチール
ケネコット銅山
ネバダ銅山
インターナショナル
ナル・ニックス
アメリカン精煉
△鐵道會社
デラウエア
ラッカワナ
ユニオン・パ
サザン・パシフィック
アチソン・トベカ
デラウエア・ハドソン
セントラル
ニューヨーク
ニューヘブロン
△其他
ゼネラル・モーター
イオストマン
デュー・ボン社
アメリカ電話電信
ウェスターン
ユニオン電信
スタンダード石油
ゼネラル電機
日本にニックス
情報局設立計畫
船船院改造案
糖蜜殘滓から肥料發見
ゼネラル・モーター
イス販賣高減少
アメリカ甜菜豫想發表日
イオストマン氏自殺
大豆の對獨輸出
GM課稅問題
ニューヨーク定期
GM保證金引上
農村疲弊狀態
メキシコ政府銀買上
カナダ、フランス
間の通商條約廢棄
ケネバの地震被害
チリの金
本位停止
日本、ワルグアイ
通商協定の必要
チリ革命成功
ボリビア錫減產協定案受諾
ブラジルのコヒー宣傳
チリ(外貨預金)
政府(引渡預金)
キューバ糖湖上
對外國問題
賠償問題英佛會議
外國工場設置計畫
クレチット償還
日支向貨物
時保險率廢棄
對外貿易の障害
保險界は極東の事態重視
對滿貿易影響
世界經濟會議計畫に
チヤール氏贊成
ヨロツパ貸付
問題研究委員會
財政問題
所得稅引上
昨年度國際收支
國庫剩餘金
財政法案
各國株取の聯結計畫
綿業界の改善
貸付研究委員會
歐洲聯合案
タニユーブ沿岸
英佛協力に決定
四國會議開催決定
ドイッ參加受諾
英佛豫備會の調查報告
經濟聯盟案
四國會議は失敗
各國の利害關係
聯盟理事會の審議
國際商議の決議
昨年の經濟界通觀
金持國の融資必要を力説
ポンド本位說提唱
自由港制度採用か
モンタギュー銀塊年報
ポンド價問題
自由貿易の必要強調
夏季時刻開始
就業率増加か
物價引上目的の通貨政策
銀問題注意喚起
炭坑法案
對外國問題
賠償問題英佛會議
外國工場設置計畫
クレチット償還
日支向貨物
時保險率廢棄
對外貿易の障害
保險界は極東の事態重視
對滿貿易影響
世界經濟會議計畫に
チヤール氏贊成
ヨロツパ貸付
問題研究委員會
財政問題
所得稅引上
昨年度國際收支
國庫剩餘金
財政法案

經濟

前頁より續く

世界

國際聯盟の爲替管理研究
ドイツ賠償支拂不能聲明
ドイツ民間短期債務協定

日本

フランスより借款説
事變費一億圓
日本商議の對滿政策

爲替

圓の攻防戦を語る
爲替管理案
對米爲替暴騰

金融

フランスより借款説
日支紛争と金融
對米金現送

金物

銅産減産措置
鐵鋼關稅引上案通過要望
八幡製鐵所の増産計畫

綿業

支那向棉花日本へ振替
紡績會社昨下期業績
加工綿布輸出旺盛

生糸

補償率の半減は粗惡
處分方法調査
賣却決定

貿易

昨年の國際收支
對英貿易の努力必要
ハイ貿易會議

製糸免許制度

春蠶掃立減少
生糸販賣統制會社計畫
春蠶掃立豫想

人絹

福井取引所開業
織物輸出増加
生産高増加

船舶

操短率は据置
各社の上期業績
生産の八割まで輸出

株式市況

ニューヨーク市況
ロンドン市況
アメリカ株式値下り額

金融市況

ロンドン金融市況
ニューヨーク市況
ロンドン株式市況

爲替市況

上海金融市場再開
金利變更
ギンギン国立銀行

日本帝都襲撃事件影響

奉天における日本金暴落
日本債券市場買進
ドル貨強調

銀塊市況

モンタギュー發表市況
モリカッタ・ゴール
ドスミッド商會同

金物市況

メキシコ石油を大量買付
滿鐵新資金調達
米穀專賣法立案調査

棉花市況

ニューヨーク市況
ロンドン市況
リヴァプール同

輸出入額

アメリカ
一般
一月中二八

物價指數

卸賣指數
日英米
獨四國
五月三三

小麥市況

砂糖相場見直し歩調
キエフ糖棚上
シカゴ小麥市況

油脂市況

ロンドン油脂市況
日本筋メキシコ
石油を大量買付

砂糖市況

ニューヨーク市況
ロンドン市況
リヴァプール同

海運市況

ニューヨーク市況
ロンドン市況
ボルネオ

株式債券

ニューヨーク株式出來高
日本公債賣出出來高
株式債券出來高

金融

アメリカ聯邦準備銀週報
通貨及金融狀態第十號より
フランス銀行週報

Table with multiple columns containing market data, exchange rates, and commodity prices. Includes sections for '輸出入額', '物價指數', '株式債券', and '金融'.

統計

金銀塊

Table of gold and silver block statistics, including monthly and quarterly figures for various countries like the US, UK, and India.

金物

Table of gold and silver articles statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

Table of other statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

其他

Table of miscellaneous statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

棉花

Table of cotton statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

Table of other statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

綿糸布

Table of cotton yarn and cloth statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

生糸・人絹

Table of raw silk and artificial silk statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

Table of other statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

砂糖

Table of sugar statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

油

Table of oil statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

Table of other statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

其他

Table of miscellaneous statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

船舶

Table of shipping statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

Table of other statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

其他

Table of miscellaneous statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

物價指數

Table of price index statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

Table of other statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

其他

Table of miscellaneous statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

輸出入額

Table of export and import statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

Table of other statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

其他

Table of miscellaneous statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

廣告

Table of advertisements, including monthly and quarterly figures for various companies.

Table of other statistics, including monthly and quarterly figures for various countries.

發行所 東京市京橋區銀座西八丁目九番地 新聞聯合社 電話 總機代電(東京)三三二二番(東京)三三二二番

編輯發行兼印刷人 大川幸之助